

修了生の活躍事例

ポリテクカレッジで学んだ内容を 就職後も活用しています

小さい頃からプログラミングに興味があり、プログラミングやそれに関わる様々なソフトウェアや機材などを、実際に自分の手で操作しながら学べるのが決め手となって、ポリテクカレッジ川内の電子情報技術科(専門課程)に進学しました。

電子情報技術科ではプログラミングやネットワーク構築などのソフトウェア技術や、電子回路などのハードウェア技術を学び、コンピュータを構成する要素全体の知識が身につきました。

ポリテクカレッジで学んだ内容は、今でもエンジニアとしての技能の基礎として、ずっと役立ってくれています。

実習の成果を活かして就職に有利な資格を取得

学生時代は、日々の実習で得た知識を基に、就職にも役立つ資格「基本情報技術者試験」に挑戦、合格しました。

資格への挑戦に当たっては、指導員の方々や学友達の協力も受けながら勉強し、ポリテクカレッジでのカリキュラムで学んだ内容への理解をさらに深めることができました。

就職に有利になっただけでなく、試験勉強を通して学んだ内容は今も仕事をすらすらと活かしています。

株式会社鹿児島データ・アプリケーション
技術部

上田 涼介さん (23)

川内職業能力開発大学校
専門課程
電子情報技術科
令和2年度 修了



頼れるエンジニアを目指して頑張っています。

現状ではプログラミングの工夫や担当している製品についてなど、エンジニアとして学ぶべきことはまだまだあり、先輩方に教を請う日々です。

どんどん知識を吸収し、先輩方のように頼れるエンジニアになりたいと思っています。

ポリテクカレッジで学んだことを、どんどん発展させて仕事に活かしていきます。ありがとうございました。

就職先企業での活躍

上田 涼介さんの業務

技術部Apexチームに所属しており、ソフトウェア製品「ACMS Apex」の保守、開発を行っています。

製品の不具合などを修正する保守、新しい機能の追加などを行う開発を通して、製品をより良いものへ改善しています。

なお、同名の有名なゲームがありますが、別のものです。

上司からの声 技術部 齋藤 満 様

主に主力製品の通信機能の開発を担当してもらっています。

入社当初からプログラミングスキルが高く、製造工程は問題なく対応できていました。

何事にも積極的に取り組む姿勢は評価でき、開発メンバーとして欠かせない一員となっています。

今後は、専門知識の習得に努め、開発の中心メンバーとしての活躍を期待しています。



株式会社鹿児島データ・アプリケーション （鹿児島県鹿児島市）

現在川内ポリテクカレッジの修了生3名が活躍

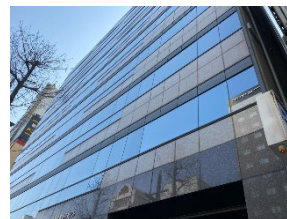
鹿児島データ・アプリケーションは、親会社である株式会社データ・アプリケーションの開発拠点として設立されました。

主な業務は、EDI関連製品の開発・保守となります。これらのEDI関連製品は企業間の電子商取引において重要な役割を担っております。

「鹿児島から驚き!」をビジョンとして掲げ、鹿児島から情報社会を支えています。

(製品例)

・ ACMS B2B ・ ACMS Apex ・ RACCOON



鹿児島から驚き!を
KaDA
Kagoshima Data Applications
株式会社 鹿児島データ・アプリケーション
代表取締役社長 中村 晃治